

2021年度 日本工学院専門学校											
放送芸術科											
映像リテラシーD 1											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	平岩モトイ			実務経験	有	職種	広告代理店クリエイティブ・ディレクター				
授業概要											
誰もがスマホを持ち歩く世の中となり、人類は歴史上ないほど映像を活用するようになっている。誰もが気軽に映像を撮影してネットに上げられる反面、同じような映像ばかりが溢れているのが現状でもある。世界初の映画が誕生して120年余り。この間、映像は「どうしたら伝わるか」「どうしたら感動させられるか」を試行錯誤してきた。先人たちが見出した、そうした「映像話法」を学ぶことで、”映像のプロ”としてふさわしい発想力、表現力を身につけることを期待する。											
到達目標											
映像クリエイティブには、いくつかの定理、法則、パターンがある。毎回テーマごとに映像制作のポイントを理解することで、将来的に映像を自分で考えて作り出せるようになる。											
授業方法											
テーマ別に、見本となるアーカイブ映像を視聴しながら「サンプル視聴」→「ポイントの理解」、さらに自宅学習を通して「定着」を図る。											
成績評価方法											
次の合計点で評価する。1）毎回の授業で出される課題を提出してもらう。40％。2）期末試験の結果。60％											
履修上の注意											
リモート授業であるが、遅刻・途中退出をしないこと。（正当な理由がある場合は、その旨、申し出ること）授業中に内部資料を扱うことがあるため、授業内容をSNSに書き込むことを禁ずる。授業時数の4分の3以上出席しない者は、定期試験を受けることができない。											
教科書教材											
特になし。毎回の授業に向けて、前日にレジュメを掲示板にて掲出するので、事前に目を通して欲しい。											
回数	授業計画										
第1回	ガイドダンス／映像の歴史										
第2回	タレントとは何か。										
第3回	シズル。思わず食べたくなる料理映像。										
第4回	日本のCM史。黎明期から高度経済成長期まで。										
第5回	日本のCM史。バブル崩壊から平成まで。										
第6回	キャラクター。キャラクターの意味、その使い方について。										

2021年度 日本工学院専門学校	
放送芸術科	
映像リテラシーD 1	
第7回	アニメ。世界のアニメ史。
第8回	アニメ。日本のアニメ史。
第9回	コマドリ。ストップモーションアニメの魅力について。
第10回	音と映像。お互いの相乗効果とは。
第11回	効果音。フォーリー、BGMの果たす役割。
第12回	コマソン。替え歌、ジングル、音の商標。
第13回	ダンス。チャップリンからK-popまで
第14回	ダンス。映像の中のダンス。バレエからミュージカルまで。
第15回	前期期末試験対策。